**【第280号 紙面案内】**

第2～4面……全国研究大会開催校案内、各分会からの諸連絡

第5～6面……各委員会からの諸連絡

## 第67回全国研究大会統一論題解題

大会実行委員長 福田 好裕 (和光大学)

### 統一論題「企業による地域経営圏の構築」

日本マネジメント学会第67回全国研究大会を東京都町田市にあります和光大学で「企業による地域経営圏の構築」という統一論題のもとに、6月7日から9日に開催させていただきます。

企業経営は、近年、地域的な広がりへの再考が求められています。マーケットの広がりだけでなく、サプライ・チェーンの見直しによる事業構造の再構築や、技術提携、共同開発といったアライアンスに至るまで、ネットワーキング力が企業の強さをあらわす指標にもなり得ることでしょう。

各地の伝統的な地場産業がインターネットを通じて日本国内のみならず全世界に市場を広げていく。SNSの普及などにより、「緩やかな紐帯」を生かす個人が強みを発揮していく。国際的な広がりも日米欧間、BRIC's等の新興国間のつながりだけでなく、世界人口の少なくはない割合を占めるBOP諸国、そしてASEAN諸国との関わりも、持ちつ持たれつのパートナーシップとして考え直す時期に来ているのではないのでしょうか。国際的な展開を図る場合も、従来の「護送船団方式」から、国任せにはしない企業主体の「民間外交」の重要性が意識されています。

以上のことを念頭において、本大会の統一論題においては、日本と東南アジアとの関係を主として論じていくことにしたいと存じます。切り口を多面化するために、産官学それぞれの立場からスピーカーに論じていただきます。アジアでのGreen IT事業、インドネシアと中国向け事業の人材、世界の中でのインドネシアのスタンスといった内容で話していただきます。

我々大学の教員においては、以前から6月は、日本マネジメント学会をはじめ、毎週のようにあるいはダブル、トリプルで学会開催が重なる時期に加えて、近年は、各大学でオープン・キャンパス等の行事が始動する時期にもなっております。非常に忙しい時期かと存じますが、全国から一人でも多くの方がご参加され、バーチャルではないフェイス・ツー・フェイスのネットワーキングが展開されるようホストを努めさせていただきます。

## 第67回全国研究大会開催校案内

和光大学は1933年に成城学園から分かれ、東京・世田谷に建てられた和光学園を母体とし、1966年に創立された大学です。今年、和光学園の開学80年の記念すべき年にあたります。

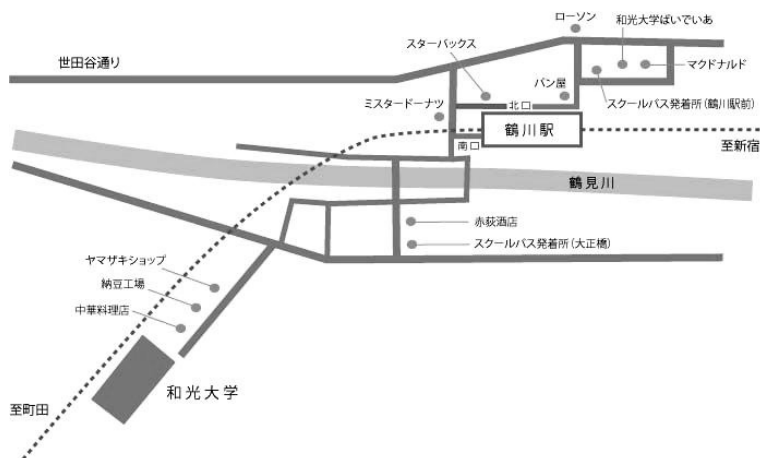
和光大学の初代学長である梅根悟先生は、和光大学の創立にあたり、「小さくてもいいからダイヤモンドのような本物の光を放つ大学を作りたい」と述べ、その理念を明示し、その第一に、「大学は自由な研究と学習の共同体」とうたい、徹底した研究と教育の自由の尊重を説きました。また、「大学は学問の自由という理念に基礎づけられた研究者の集団であり、そこで自由で創造的な学術の研究が共同して行なわれているということが、第一義的な存在理由」であること、「単なる目先の実利実用、功利性だけにとらわれない基礎的な研究が活発におこなわれる場」であること、「大学の生命は研究者としての教師」であることを強調しました。

近年になって大学は、教育と学習の場であることにいっそう重点が置かれるようになりました。和光大学でもこの流れを重視し、既存の学部や学科の改組転換を重ねました。同時に、「少人数教育」の実施や、「総合的知性」および「総合的教養」の重視、多岐にわたり細分化された「専門性」と「総合性」との両立などの基本原則は、開学以来引き継がれています。

また、自由と個性の尊重をモットーとし、学生の学習の自由意志を尊重しています。具体的には授業の「大幅な選択の自由」が挙げられます。授業科目を自由に選択できる幅が広く、他学部・他学科の授業科目も履修することができます。

和光大学は、教員数は専任教員約100名、学生数約3,200名です。現代人間学部（心理教育学科、現代社会学科、身体環境共生学科）、表現学部（総合文化学科、芸術学科）、経済経営学部は経済学科と2013年度から経営メディア学科を経営学科に改めた3学部7学科に加えて、大学院（現代社会文化論コース、発達・教育臨床論コース、現代経済・ビジネスコースからなる社会文化総合研究科）で構成されています。

キャンパスは、小田急線「鶴川」駅から徒歩約15分、スクールバスで約10分。本学のキャンパスは、豊かな緑につつまれた小高い丘にあります。ここにすべての施設が整っています。バリアフリー環境で、雨の日でも、一旦、建物に入ってしまうと、ほとんど濡れることなくキャンパス内を移動できます。



## ◇◇ 関東部会開催のお知らせ (報告者募集) ◇◇

開催校担当委員 石井 泰幸 (千葉商科大学)

- 日 時：平成 25 年 5 月 11 日 (土) 14:00 ~ 17:30
- 場 所：千葉商科大学図書館 5 階大会議室
- 報告プログラム ※報告：40 分、コメント・質疑 20 分

第 1 報告：14:00 ~ 15:00

報告者：鎌田 光宣 (千葉商科大学)

テーマ：「大規模クラスの双方向授業を支援する e ラーニングの課題と展望」

コメンテーター：森川 信男 (青山学院大学)

司会者：田中 二郎 (つくば国際大学)

第 2 報告：15:10 ~ 16:10

報告者：佐藤 聡彦 (明治大学)

テーマ：「経営者哲学に関する一考察 - 経営者の哲学形成と実践について -」

コメンテーター：松村 洋平 (立正大学)

司会者：仁平 晶文 (東京経営短期大学)

(20 分休憩：コーヒーブレイク)

第 3 報告：16:30 ~ 17:30

報告者：董 晶輝 (東洋大学)

テーマ：「M&amp;A 公表時点の決定 - リアル・オプション・アプローチ -」

コメンテーター：手塚 公登 (成城大学)

司会者：横田 章憲 (産能短期大学)

- 参加費等：参加費 1,000 円、懇親会費 3,000 円

なお、平成 25 年度第 2 回関東部会を専修大学で開催します。ご参加の程、よろしくお願ひ申し上げます。また報告者を募集しますので、報告を希望される方は応募先までご連絡をお願ひ申し上げます。なお関東部会では随時報告者を募集しております。

1. 日 時：平成 25 年 7 月 20 日 (土)
2. 場 所：専修大学 (神田キャンパス)

- お問い合わせ：手塚 公登 (tezuka@seijo.ac.jp、TEL：03-3482-9298)

## ◆◆中部部会からのお知らせ（報告者の募集）◆◆

藤木 善夫（東海学園大学）

第47回中部部会は平成25年6月29日（土）に東海学園大学栄サテライトキャンパスで経営行動研究学会、経営哲学学会との3学会合同により開催予定です。現在、報告者を募集しています。報告を希望される方は下記藤木宛ご連絡下さい。

<連絡先>藤木 善夫（東海学園大学）  
〒470-0207 みよし市福谷町西ノ洞 21-233  
TEL 0561-36-5555, fujiki@tokaigakuen-u.ac.jp

## ◆◆関西部会からのお知らせ（報告者の募集）◆◆

関西部会長 佐々木 利廣（京都産業大学）

下記の通り平成25年度第1回関西部会を開催いたします。ご参加くださいますようお願いいたします。現在報告者を募集しております。報告を希望される方は、報告タイトル等（仮題でも結構です）を5月31日（金）までに下記の幹事まで御連絡くださいますようお願い申し上げます。

なお関西部会では随時報告者を募集しております。

1. 日時：平成25年6月29日（土）午後1時30分～午後8時（含懇親会）
2. 場所：関西大学100周年記念会館（電話：06-6758-7733）
3. その他（報告の応募先）  
部会幹事 曹 佳潔（京都産業大学大学院） jiajiecao@cc.kyoto-su.ac.jp

## ◆◆中国・九州部会開催のご案内◆◆

開催校担当委員・中国・九州部会長 篠原 淳（日本経済大学）

中国・九州部会では下記の通り部会を開催します。特別講演としてホワイトデーを世に広めた石村萬盛堂の石村僖悟社長をお招きします。多くのご参加を心よりお待ち申し上げます。また、2件ほどの新規のご報告も受付中です。奮ってご応募ください。

（\*中国・九州部会の開催日は、本会報の発行時期の前後のために、事前に学会HPでもご案内させて頂きました。 会報委員会）

- 日 時：平成25年3月23日（土）13:30～17:00
- 場 所：日本経済大学福岡キャンパス  
キャリアサポートセンター2階プレゼンテーションルーム
- プログラム（報告30分 コメント・質疑15分）

総会 (13:00 ~)

報告事項：新役員および新監事紹介

審議事項：中国・九州部会の運営に関する意見交換

報告 1・2 (13:30 ~ 15:00)

報告者：未定 (募集中)

報告 3 (15:00 ~ 15:45)

報告者：小野瀬 拓 (九州産業大学)

テーマ：「九州の長寿企業の特徴」

特別講演 (16:00 ~ 17:00)

講演者：石村 僖悟 氏 (株式会社石村萬盛堂代表取締役)

演 題：「鶴乃子 100 年」

懇親会

●参加費 1,000 円

●お問い合わせ：中国・九州部会長 篠原 淳 (shinohara@bird.ocn.ne.jp)

## ◇◇日本・国際マネジメント研究部会・活動報告◇◇

部会長 松本 芳男 (日本大学)

平成 24 年 12 月 8 日 (土) の 10:00 ~ 12:00 にかけて、日本・国際マネジメント研究部会が成城大学で開催されました。報告者はエムアイ総研代表、元・日本サムソン顧問の石田賢氏で、報告テーマは「日本企業の再生に『サムソン』から何を学ぶか」でした。コメントーターは経営アドバイザー T-FLU'84 代表、長崎大学名誉教授の藤野哲也氏でした。ソニー、パナソニック、シャープなど、かつては日本経済の成長を牽引したエクセレント・カンパニーが大変な業績悪化に陥っている今日、大変時宜を得たテーマでした。経営者の強烈なリーダーシップと迅速な意思決定、危機感の醸成、信賞必罰の人事などが特に印象的でした。藤野氏の鋭いコメントやフロアからの質疑も活発で、大変内容の濃い研究部会でしたが、参加者が少なかったのが残念でした。

### 総務委員会からのお知らせ

(会員名簿の発行時期の変更について)

総務委員会では、4月中旬を目途に会員名簿の改訂を行います。つきましては、会員の中で所属、住所、電話番号、メールアドレスが変更になった方は早急に事務局かもしくは下記アドレスまでご連絡ください。

nipponmanagementgakkai@gmail.com

また今後は e-mail にてさまざまな告知をする予定です。e-mail のアドレスが未登録の場合にも、上記アドレスにご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。

締め切り 4月15日(月)

## 機関誌委員会からのお知らせ

日本マネジメント学会機関誌第16巻2号について、以下の訂正をお願いいたします。

9頁：第2段落、3行：「・・・塩釜市場に通って鮮魚出火事業のみを継続させた。」

→「・・・塩釜市場に通って鮮魚出荷事業のみを継続させた。」

杉田博先生、関係各位にご迷惑をおかけ致しました。衷心よりお詫び申し上げます。

機関誌委員長 樋口 弘夫

### 学会費について

平成24年度の会費未納者は早急にお納めください。学会は皆様の会費で運営しています。事務作業軽減のため郵便自動払込にご協力ください。

手続：イ) 郵便口座の取得

ロ) 最寄りの郵便局に出向き『自動払込利用申込書』に記入

払込先加入者名：日本マネジメント学会

払込先口座番号：00150-7-535064

払込開始月：平成25年4月から

払込日：毎年4月10日（再払込日 25日）

なお、領収書が必要な方はEメールでご連絡ください。ぜひご協力ください。

### 本棚～会員の最新刊著書を紹介します～

・大泉光一『危機管理学総論』（改定版） ミネルヴァ書房 4,000円＋税

・S. カブスギル & K. ナイト著、中村久人監訳・萩原道雄・村瀬慶紀訳  
『ボーングローバル企業論－新タイプの国際中小・ベンチャー企業の出現－』  
八千代出版 2,500円＋税

\*会員の皆さまの最新刊著書をご紹介したいと思います。事務局への献本（1冊）をお願い致します。

### 編集後記

皆様、年度末でお忙しいことと存じます。本号でご紹介しているように各地域部会では発表者を募集しております。今年度も大会とともに各部会も活発な活動が予定されております。

会報委員会一同

発行 **日本マネジメント学会**  
(旧称：日本経営教育学会)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-8-4  
株式会社山城経営研究所（担当：魚住）  
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988  
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp  
URL: <http://www.nippon-management.jp/>

印刷 ㈱ドットケイズ TEL 03-5206-1626  
E-mail: win@good-ks.co.jp